

小学校 生活科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P44～P52

生活科 事例1

キーワード「指導と評価の計画から評価の総括まで、三つの観点の評価」

単元名

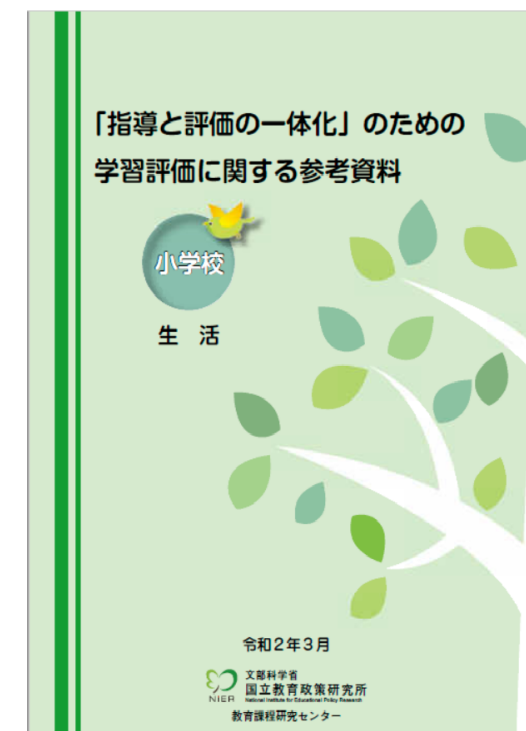
いきもの大すき

内容のまとめ

第2学年 内容(7)「動植物の飼育・栽培」

1 単元の目標

モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気づき、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にすることができるようになる。



「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

2 単元の評価規準 【単元の目標→単元の評価規準】

単元の目標

モルモットを飼育する活動を通して[A学習活動]、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ[B思考力、判断力、表現力]、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付き[C知識及び技能]、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にすることができるようになる[D学びに向かう力、人間性等]。

単元の評価規準

知識・技能

モルモットを飼育する活動を通して[A]、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付いている[C]。

思考・判断・表現

モルモットを飼育する活動を通して[A]、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている[B]。

主体的に学習に

取り組む態度
モルモットを飼育する活動を通して[A]、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にしようとしている[D]。

2 単元の評価規準 【単元の評価規準→小単元1の評価規準】

単元の評価規準

知識・技能
 モルモットを飼育する活動を通して、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付いている。

思考・判断・表現
 モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。

主体的に学習に取り組む態度
 モルモットを飼育する活動を通して、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。



小単元1の評価規準

知識・技能①
 モルモットの特徴、変化や成長の様子に気付いている。

主体的に学習に取り組む態度①
 元気に育てたい、仲良くなりたいという思いや願いをもって、モルモットに関わろうとしている。

2 単元の評価規準 【単元の評価規準→小単元2の評価規準】

単元の評価規準

知識・技能

モルモットを飼育する活動を通して、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付いている。

思考・判断・表現

モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。

主体的に学習に

取り組む態度
モルモットを飼育する活動を通して、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。



小単元2の評価規準

知識・技能②

モルモットも自分たちと同じように生命をもっていること、成長すること、モルモットに合った世話の仕方があることに気付いている。

知識・技能③

モルモットを適切な仕方できせ話をしている。

思考・判断・表現②

モルモットの変化や成長の様子に着目したり、モルモットの立場に立って関わり方を見直したりしながら、世話をしている。

主体的に学習に

取り組む態度②
モルモットに心を寄せ、モルモットの様子に合わせて、繰り返し関わろうとしている。

2 単元の評価規準 【単元の評価規準→小単元3の評価規準】

単元の評価規準

知識・技能

モルモットを飼育する活動を通して、モルモットにあった世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付いている。

思考・判断・表現

モルモットを飼育する活動を通して、モルモットの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。

主体的に学習に

取り組む態度
モルモットを飼育する活動を通して、モルモットへの親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。



小単元3の評価規準

知識・技能④

モルモットへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。



思考・判断・表現②

モルモットとの関わりを振り返りながら、世話をしていたことやモルモットへの思い、自分自身の成長を表現している。



主体的に学習に

取り組む態度③
モルモットとの関わりが増したことに自信をもち、関わり続けようとしている。

3 指導と評価の計画

小単元名 (時間)	学習活動	評価 規準	評価方法
1 みてさわって なかよし 大きくせん (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生からモルモットの飼育を依頼され、話し合う。 ・獣医師から、モルモットについての話を聞き、モルモットと関わる上で、気を付けなければならないことを知る。 ・モルモットに触れたり、えさを与えたり、一緒に遊んだりしながら、モルモットを観察する。 	態① 知①	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察や発言分析、観察カードの分析 ・観察カードの分析、発言分析
2 お世話で なかよし 大きくせん (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・モルモットの飼育環境やえさ、世話の仕方などを調べる。 ・モルモットの様子に合わせて、世話の仕方を工夫する。 ・モルモットを飼育して、気付いたことや感じたことを絵や文で表現したり、友達に伝えたりする。 	知② 思① 知③ 知① 態②	<ul style="list-style-type: none"> ・発言分析、調べ学習のメモの分析 ・行動観察、発言分析、モルモット日誌の分析 ・行動観察やモルモットの世話の記録の分析、発言分析 ・観察カード及び短冊カードの分析、発言分析 ・行動観察や観察カードの分析、発言分析
3 ぼく・わたしと モルモット (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのモルモットの飼育活動を振り返る。 ・世話をして気付いたことやモルモットへの思い、自分自身の成長を、モルモットの本に表現する。 	知④ 態③ 思②	<ul style="list-style-type: none"> ・作品(モルモットの本)や発言分析 ・作品(モルモットの本)や発言分析、行動観察 ・作品(モルモットの本)や発言分析

4 観点別学習状況の評価の進め方

知識・技能の評価

生活科では、思いや願いの実現に向けた活動や体験の過程において気付いたことについて評価を行うとともに、それらについて、「無自覚から自覚された気づき」「関連付いた気づき」「自分自身への気づき」などのように気づきの質が高まっているかについて評価する。また、生活上必要な習慣や技能については、特定の習慣や技能を取り出して指導するのではなく、思いや願いを実現する過程において身に付けていくものであることに留意する。

4 観点別学習状況の評価の進め方

A児の場合

- ・学級で育てることになったモルモットに強い興味をもっている。
- ・観察カードには、「ふわふわだった」「えさを食べてくれてうれしかった」などの感想のみ記述

気づきの不足

教師の働き掛け

「例えば、犬とモルモットではどんなところが違うのかな？」
などの問いかけ

- ・「ときどき素早く動く」「すぐにかくれる」といった行動面の気づきから、様々な視点の特徴への気づき

おおむね満足できる

4 観点別学習状況の評価の進め方

思考・判断・表現の評価

生活科では、思いや願いの実現に向けて気付いたことを基に考え、気づきを確かかなものとしたり、新たな気づきを得たりするようにするため、「見付ける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」などの思考が多様な学習活動の中で働いているかについて評価する。

4 観点別学習状況の評価の進め方

C児の場合

- ・モルモットの「足の裏が少し赤くなっている」という気付き
- ・「体重が重いから赤いのかな」という考え
- ・段ボールで柵を作り運動をさせようと提案
- ・柵作りでは率先して友達に声をかけ、協力して作り上げた
- ・モルモットを毎日柵の中で運動させ、足の赤味も改善



教師の見取り

自身の気付きから改善のための飼育環境の工夫

十分満足できる

4 観点別学習状況の評価の進め方

主体的に学習に取り組む態度の評価

生活科では、思いや願いの実現に粘り強く向かおうとしているかどうか（粘り強さ）、状況に応じて自ら働き掛けようとしているかどうか（学習の調整）、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすることを繰り返し、安定的に行おうとしているかどうか（実感や自信）という意思的な側面について評価する。

4 観点別学習状況の評価の進め方

D児の場合

- ・モルモットとの関わりから「やってみる心とがんばる心をもらいました」と振り返りで記述
- ・はじめはモルモットを怖がり抱っこができなかった
- ・手袋をはめたら抱っこができるのではないかと考え、粘り強く関わり、最後は手袋なく抱っこができるように
- ・このことを休み時間に来た1年生にも説明したり、励ましたりした

↓
教師の見取り

学習を調整しようとする姿、関わり続けようとする姿

十分満足できる

5 観点別学習状況の評価の総括

- ・「小単元における評価規準」に照らした評価の実施
- ・それぞれの評価で得られた結果を統合すれば単元の評価に

生活科では統合だけに留まらず

- ・活動や体験そのもの、学習の過程が重要となる生活科の評価
- ・児童の学習状況を「単元の評価規準」に照らし、単元を通しての児童の変容や成長の様子を捉える長期にわたる評価の実施
- ・授業時間外の児童の姿の変容も評価の対象に加える

5 観点別学習状況の評価の総括

単元の評価に役立つ集計簿①

「小単元における評価規準」ごとに日々の評価結果を記録

表1 日々の評価一覧（例）

小単元3 (5)	知識・技能④		思考・判断・表現②			主体的に学習に取り組む態度③	
	1回目	2回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目
A児	C	B	—	B	B	B	B
B児	—	A	B	A	A	—	A
C児	A	—	A	—	B	B	—
D児	B	A	—	B	A	—	A

5 観点別学習状況の評価の総括

単元の評価に役立つ集計簿②

「小単元における評価規準」ごとにまとめた評価結果の一覧

表2 小単元ごとの評価一覧 (例)

小単元の 評価規準	知識・技能				思考・判断・表現		主体的に学習に 取り組む態度		
	知①	知②	知③	知④	思①	思②	態①	態②	態③
A児	B	C	B	B	B	B	B	B	B
B児	A	B	A	A	A	A	A	B	A
C児	B	A	A	A	A	B	A	A	B
D児	B	B	B	A	B	A	B	B	A

生活科は「子どもの姿」を追う教科です。

生活科の評価は「子どもの姿」に
注目し、はげまし、そっと背中を押すイメージ
で進めていきましょう。